

第27回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成26年1月

応募者名:東京都 建設局 道路建設部

事業の名称:JR中央本線(三鷹～立川間)他

連続立体交差事業

実施都市名:東京都 三鷹市～立川市

事業目的

本事業はJR中央本線の三鷹駅～立川駅間約13.1kmの区間（西武鉄道多摩川線武蔵境駅付近を含む）の高架化により、18箇所の踏切を除却することで、道路ネットワークの形成を促進し、交通渋滞や地域分断を解消するとともに、地域の活性化に資するものである。

事業概要

事業名称: JR中央本線(三鷹駅～立川駅間)他連続立体交差事業
事業箇所: 三鷹(三鷹市下連雀三丁目)～立川(立川市錦町一丁目)間
事業延長: 約13.1km(三鷹駅～立川駅間)
構造形式: 高架方式
駅施設: 武蔵境駅、東小金井駅、武蔵小金井駅、国立駅
側道: 延長約5.0km、幅員6m～14m、路線数12本
事業費: 約1,741億円
事業期間: 平成7年度～平成25年度

- ・平成21年12月東側区間踏切除却(13箇所)
- ・平成22年11月西側区間踏切除却(5箇所)

■立体交差化される都市計画道路(9箇所)

都市計画道路名称	計画幅員	摘要
三鷹 3・2・6	36.0m	新道北踏切
武蔵野 3・4・27	16.0m	
武蔵野 3・4・24	16.0m	山中踏切
小金井 3・4・8	16.0m	
小金井 3・4・11	18.0m	東町踏切
小金井 3・4・12	16.0m	緑町踏切
国立 3・4・10	16.0m	
国立 3・4・14	16.0m	西二条踏切
立川 3・3・30	20.7m	

JR中央線の整備効果アピール資料

【高架化による効果① ～小金井街道～】

○13箇所の踏切遮断が解消しました

ピーク時1時間あたりの踏切遮断時間

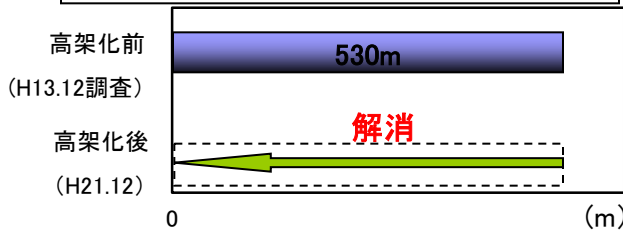
事業前 58分 ⇒ 解消

1日あたりの踏切遮断時間

事業前 15時間 ⇒ 解消

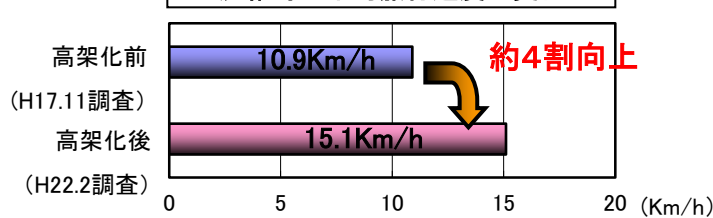
○踏切待ちによる交通渋滞が解消しました

小金井街道踏切の遮断による渋滞の変化



○小金井街道の平均旅行速度が約4割向上しました

混雑時の平均旅行速度の変化



高架化前

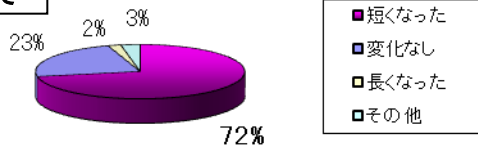


高架化後

○主に徒歩・自転車利用の約7割の方々が

移動時間の短縮を実感しています

移動時間について

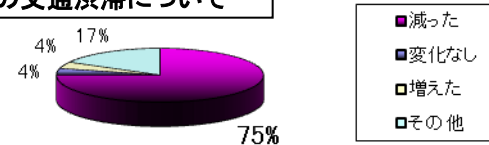


3駅周辺住民 n=330

○バス・タクシードライバーの約7割の方々が

交通渋滞の減少を実感しています

3駅周辺道路の交通渋滞について



バス・タクシードライバー n=486

【高架化による効果② ～関連側道及び高架下利用～】

側道整備により、沿線地域の環境改善や道路ネットワークの促進を図ります。あわせて、鉄道事業者による高架下への商業施設整備により、にぎわいのあるまちづくりに寄与します。

○延長約5km 幅員6m～14m



武蔵境駅～東小金井駅間の側道整備

高架下利用を図ることで地域の利便性、快適性が向上します。

○駐輪場利用 7箇所 約8500m²



武蔵境駅～東小金井駅間の駐輪場整備

事業前写真

昭和53年撮影

武蔵小金井駅



昭和53年撮影

東小金井駅



平成13年10月撮影

国立踏切



事業後写真

平成23年3月撮影

武蔵小金井駅



平成26年1月撮影

東小金井駅



平成26年1月撮影

国立踏切



